

川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学

川崎医療福祉大学
リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科 3年

安原 愛莉さん
(岡山県立総社南高校卒)



系列病院の臨床現場で実習

言語聴覚療法学科の学生は、「話す」「聞く」「食べる」ことなどのリハビリテーションを行う専門職である言語聴覚士を目指しています。具体的には、聴覚障害、脳損傷による失語症や高次脳機能障害、発声障害の障害、摂食嚥下障害、小児の言語障害などに対して訓練や指導を行い、子どもからお年寄りまで幅広い世代をサポートします。

私がこの学科を目指したのは、中学生のころ、脳梗塞で入院した祖母のリハビリを見たことがきっかけでした。後遺症で話しづらく

なっていた祖母が、言語聴覚士の先生の指導を「ここにこそ楽しそうに受ける姿がとても印象的で、言語聴覚士に興味を持ち、オープンキャンパスに参加して進路を決めました。

大学では、1、2年次で言語聴覚障害概論や音声学・音響学など基礎から専門分野まで座学中心で学びました。3年次では系列の川崎医科大学附属病院での臨床実習に臨み、専門知識の定着に励んでいます。

学科の大きな特長は、教育と実践の垣根がないことです。臨床現場で活躍さ

患者の心支える言語聴覚士に



幼児聴力検査実習に励む安原さん(左)

れている先生が多いため、講義で学んだことを実際の現場で見学でき、貴重な体験を積むことができます。検査機器などの設備も充実していて自習でもしっかり使えます。

将来は周囲から分りづらい障害に悩む患者さんの心の支えとなる言語聴覚士を目指しています。専門的な知識、技術で自分らしい生活を取り戻す手助けができるようになりたいです。

〒701-0193 倉敷市松島288
川崎学園アドミッションセンター
☎(086)464-1064

岡山の大学へ行こう

vol. ② 輝く在学生

岡山県内の大学・短大の魅力を紹介する「岡山の大学へ行こう」3回シリーズの第2回は、夢の実現を目指して県内の大学へ進学し、充実したキャンパスライフを送る学生たちを取り上げます。大学を選んだ理由や力を入れている勉強、将来の目標などを聞きました。

川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学

7月24日(日)、8月20日(土) ▲医療短大単独
8月21日(日) ◆医療大単独

川崎学園アドミッションセンター

☎(086)464-1064

2023年3月26日(日) ★医療大、医療短大、川崎リハビリテーション学院の3校合同開催。

川崎医療福祉大学 川崎医療短期大学

